



神奈川県の率先実行の取組

神奈川県では、平成12年度に、国際規格である「ISO14001」に基づいた環境マネジメントシステムの運用を県機関の一部で開始しました。その後、システムの対象範囲を拡大し、平成19年度には警察も含めるなど、現在では全ての県機関を対象とした環境マネジメントシステムの運用を行っています。

ISO14001は、環境に配慮した取組を継続的に改善する仕組みになっていることが特徴です。

知事が定めた環境方針に基づき、目的・目標を定め、これらを達成するため、行動計画「環境マネジメントプログラム」を作成しており、このプログラムをもとに、日常活動や業務を環境に配慮しながら進め、その進捗状況を定期的に点検し、見直しています。

この仕組み（PDCAサイクル）に基づき毎年取組を進めることにより、継続的に日常活動や業務が改善され、環境に配慮した活動になっていきます。

なお、平成23年10月1日から、審査登録機関による認証登録に代えて、ISO14001の規格に適合していることを自ら宣言するという「自己適合宣言」のもとで環境マネジメントシステムを運用しています。

ここでは、平成25年度における各プログラムの取組状況（進捗状況）を報告します。

1 グリーン購入の拡大と廃棄物の削減に向けた率先実行プログラム

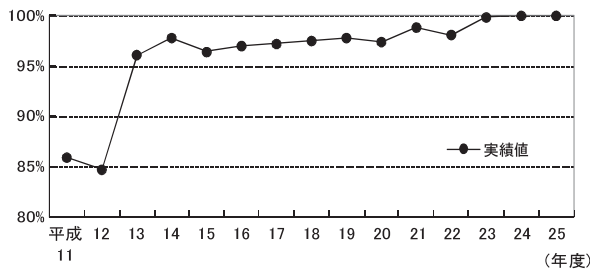
このプログラムは、物品を購入して、事務事業活動を行い、廃棄物となって排出するという一連の流れの中で環境配慮を行い、グリーン購入、廃棄物の発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）を進めています。

▶表3-1 平成25年度目標と実績

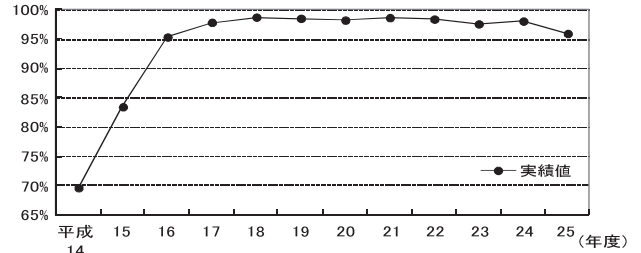
取組項目	目 標	実 績
本庁の経常物品のグリーン購入率の向上	☆	100.0%
出先機関等のグリーン購入率の向上	☆	95.9%
警察のグリーン購入率の向上	95.0%	98.8%
本庁の印刷物の再生紙等利用率の向上	☆	96.8%
出先機関等の印刷物の再生紙等利用率の向上	☆	98.2%
警察の印刷物の再生紙等利用率の向上	☆	(対象なし)
本庁の廃棄物発生量の削減（廃棄物発生量を把握）	☆	475t
本庁のリサイクル率の向上	☆	91.0%
出先機関等の廃棄物発生量の削減（廃棄物発生量を把握）	☆	4,222t
出先機関等のリサイクル率の向上	57.0%	58.2%
警察の廃棄物発生量の削減（廃棄物発生量を把握）	1,520t	1,449t
警察のリサイクル率の向上	50.0%	53.9%
本庁のコピー用紙使用量の削減（使用量を把握）	☆	6,785万枚
出先機関等のコピー用紙使用量の削減（使用量を把握）	☆	21,162万枚
警察のコピー用紙使用量の削減（使用量を把握）	☆	10,713万枚

☆印は維持管理項目（実績数値は把握するが、新たな数値目的・数値目標は設定しない項目）

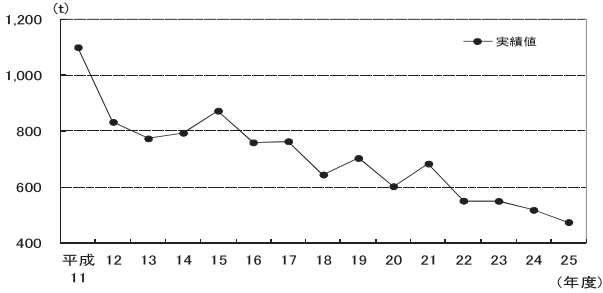
▶ 図3-1 本庁の経常物品のグリーン購入率の推移



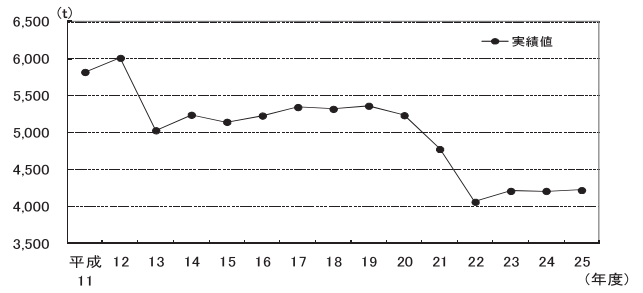
▶ 図3-2 出先機関等のグリーン購入率の推移



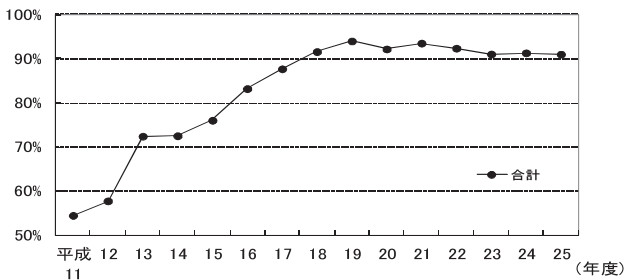
▶ 図3-3 本庁の廃棄物発生量の推移



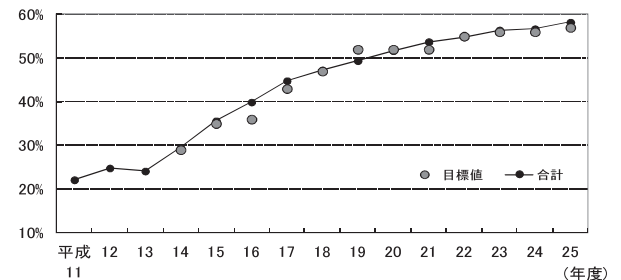
▶ 図3-4 出先機関等の廃棄物発生量の推移



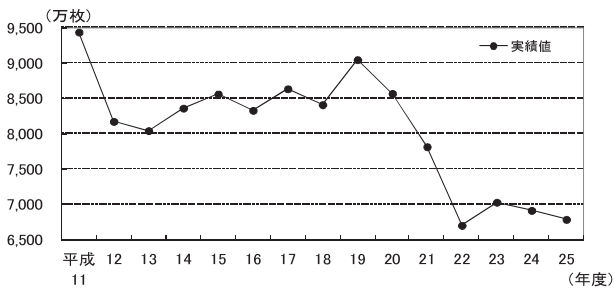
▶ 図3-5 本庁のリサイクル率の推移



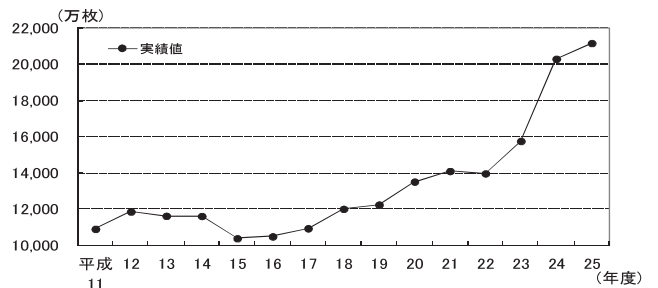
▶ 図3-6 出先機関等のリサイクル率の推移



▶ 図3-7 本庁のコピー用紙使用量の推移



▶ 図3-8 出先機関等のコピー用紙使用量の推移*



※平成23年度まで一部の所属において授業等で使用した更紙(ざらし)の枚数を含めず集計していたところを、平成24年度から更紙の枚数も含めて集計することに統一したため、平成24年度実績から増加した。

2 地球温暖化防止に向けた率先実行プログラム

このプログラムは、温室効果ガス総排出量に大きく関与する各庁舎のエネルギー使用量の削減、浄水場のエネルギー使用量の削減、道路照明への省エネルギー型の照明ランプの導入などを進めています。

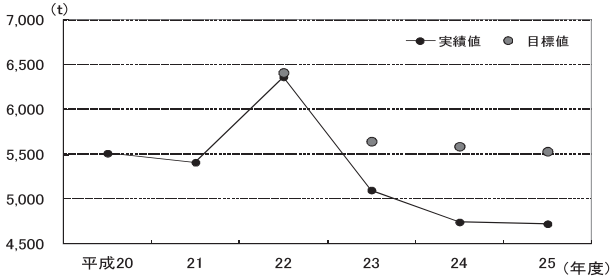
▶ 表3-2 平成25年度目標と実績

取組項目	目標	実績
本庁の温室効果ガス排出量の削減	5,534 t	4,726 t
出先機関等の庁舎の温室効果ガス排出量の削減	58,500 t	52,307 t
寒川浄水場 送水量当たりの温室効果ガス排出量の削減	126t/百万m ³	121t/百万m ³
谷ヶ原浄水場 送水量当たりの温室効果ガス排出量の削減	119t/百万m ³	121t/百万m ³
道路照明1本当たりの温室効果ガス排出量の削減	346kg/年・本	362kg/年・本

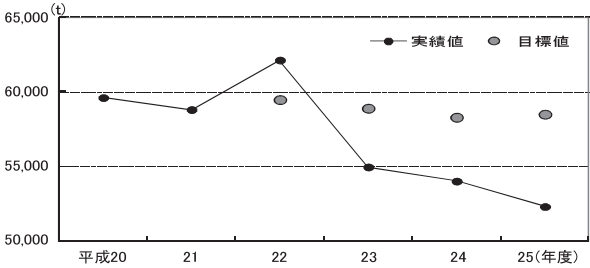
取組項目	目標	実績
警察の庁舎の温室効果ガス排出量の削減	28,404 t 以下	24,496 t
信号機のLED化の推進	34.0%以上	36.6%
本庁の水道使用量の削減	☆	5.6万m ³
出先機関等の水道使用量の削減	☆	144.1万m ³
警察の水道使用量の削減	71.5万m ³ 以下	59.4万m ³

☆印は維持管理項目（実績数値は把握するが、新たな数値目的・数値目標は設定しない項目）

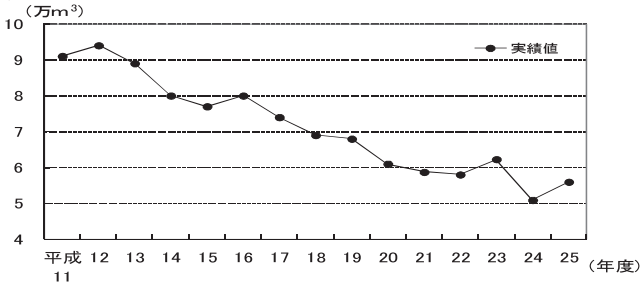
▶図3-9 本庁の温室効果ガス排出量の推移



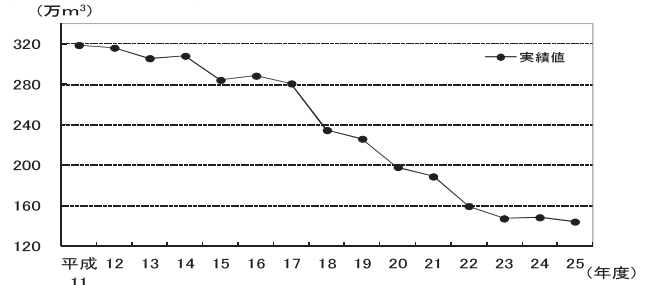
▶図3-10 出先機関等の庁舎の温室効果ガス排出量の推移



▶図3-11 本庁の水道使用量の推移



▶図3-12 出先機関等の庁舎の水道使用量の推移



3 環境配慮型、環境創造型公共工事の推進プログラム

このプログラムは、公共工事の構想・計画段階、実施設計・積算段階、発注段階、工事段階、検査段階の各段階における環境配慮を進めるため、仕様書や現場説明書における環境配慮項目の拡大、工事の各段階におけるチェックリストの作成や見直し等を行い、環境配慮型、環境創造型工事を進めています。

また、グリーン資材調達の推進やリサイクル率の向上に努めており、主要な資材等については目標を定め実績把握を行っています。

▶表3-3 平成25年度目標と実績

取組項目	目標	実績
再生砕石の利用率の向上	☆	83.4%
再生アスファルト合材の利用率の向上	☆	63.4%
コンクリート塊のリサイクル率の向上	☆	99.5%
アスファルト・コンクリート塊のリサイクル率の向上	☆	99.8%
建設発生木材のリサイクル率の向上	☆	99.3%

☆印は維持管理項目（実績数値は把握するが、新たな数値目的・数値目標は設定しない項目）

4 環境基本計画

神奈川県 の環境分野における基本的な計画である環境基本計画に位置づけているプロジェクトを進めています。また、これらの進捗状況について、環境審議会や県民による点検に加え、内部監査による点検などを実施し、より効果的に進めています。



「神奈川県環境基本計画ー将来につなぐ良好な環境の保全と創造ー」

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f1023/>

5 環境に視点をおいた本来業務の改善プログラム

このプログラムは、環境に視点をおいた本来業務の改善に向けて、各局一つ以上のプログラムを作成し、実施しています。

平成13年度からは、各所属の取組の中で優れている事例を「クローズアップ優秀事例」としてISO14001の内部監査員が評価して公表しています。

●平成25年度 クローズアップ優秀事例（抜粋）

○ポンプ所設備更新工事において、最適な定格のポンプ設備の選定による設備規模縮小及び電気設備の低圧受電化を実施することにより、将来の設備更新費用縮減及び省エネルギーにつなげた。

また、寒川第2浄水場のろ過池について、職員提案により、半年間にわたる実証実験で安全性を見込んだ上で、ろ過継続時間を延長し、ろ過池の洗浄回数を減らすことで、洗浄に要する動力費の削減やろ過材の更新周期の延命等、省エネに寄与した。(寒川浄水場)

○空調機の使用状況を一目で確認できるように、職員室の既存ホワイトボードを「節電ホワイトボード」として使用し、空調機使用の一元管理を図り電気使用量の削減に努めることで省エネに貢献した。

また、8月の行事予定に「節電週間」を設け、教職員に夏季休暇の集中取得を促す等により、空調機の稼働を大幅に減らし節電の徹底を図った。(大楠高等学校)

○児童・生徒や教職員の協力のもと、学習環境に影響のないよう配慮の上、こまめに空調の運転状況をチェックして温度調節などを行った結果、平成25年度の電気使用量を大きく削減することができた。

また、環境問題への意識向上のため、節電節水等に関して積極的に取り組むよう教職員から児童・生徒へ伝え、児童・生徒もそれを実践するなど、校内一丸となり継続的な省エネに取り組んでいる。(平塚ろう学校)



環境マネジメントシステム

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f246/>